

令和6年度

第14回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和6年10月25日(金)
開会13時35分 閉会14時00分

場 所 教育委員室

令和6年度
第14回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 令和7年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について

第2号議案 大分県教育実践者表彰について

(2) 報 告

令和6年度科学の甲子園ジュニア大分県大会について

第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の結果について

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	山 田 雅 文
	委 員 (教育長職務代理者)	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
	委 員	岡 田 豊 弘
事務局	教育次長	大 和 孝 司
	教育次長	山 田 誠 司
	教育次長	武 野 太 二
	参事監兼体育保健課長	佐 保 宏 耕
	教育改革・企画課長	鈴 木 平 一
	教育人事課長	吉 雄 幸 平
	義務教育課長兼幼児教育センター所長	小 野 勇 一
	特別支援教育課長	坂 本 忠 史
	教育改革・企画課 総務企画監	角 淵 達 彦
	教育改革・企画課 課長補佐 (総括)	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平
	教育改革・企画課 主査	穴 見 ひ と み

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

(山田教育長)

ただ今から令和6年度第14回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、岩武委員にお願いします。

会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は14時15分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(山田教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、第2号議案は人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

第2号議案は非公開といたします。

(山田教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【議案】

第1号議案 令和7年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(山田教育長)

まず、第1号議案「令和7年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について」教育人事課長から説明をしてください。

(吉雄教育人事課長)

この「人事異動方針」とそれに基づく「人事異動実施要綱」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条に定められている、県費負担教職員の標準的な在職期間、任用に関する基準について、任命権者である大分県教育委員会が規定するものです。

資料2ページをご覧ください。平成21年度以降の人事異動方針等の変遷・概要を添付していますが、その時々情勢で必要な見直しを行ってきました。内容の説明については割愛します。

それでは、令和7年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針(案)について、説明します。資料の4ページから8ページに、人事異動方針及び実施要綱の案を添付していますが、説明は、新旧対照表で行います。

9ページの人事異動方針の新旧対照表をご覧ください。右側が令和7年度の異動方針(案)です。中段の「第2 人事異動」の「2 新採用」部分ですが、10ページの上段の(3)をご覧ください。

平成24年度から行ってきた特別支援学校教諭(小学部・中学部)の新採用者の、小中学校の特別支援学級への配置について、特別支援学校でのOJT等を通じて新採用者の資質や専門性の向上を図るため、新採用時における小中学校特別支援学級への配置見直しを行います。

次に、そのすぐ下の「3 転任等」の「(2) 県立学校」の部分をご覧ください。教育庁の今年度の組織改正(R6.4.1)により、教育財務課内に県立学校の会計指導等を行う班が新設されたことを受け、県立学校の統括事務室制度の発展的解消に伴う見直しを行います。

続いて、11ページをご覧ください。

「大分県市町村立学校教職員定期人事異動実施要綱」の新旧対照表です。先ほど説明した、新採用者の特別支援学級への配置見直しを反映させる形で、次の12ページの下線部分について見直しを行います。

説明は以上ですが、この人事異動方針等について、承認をいただきましたら、各県立学校及び市町村教育委員会に通知を行うこととしています。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

(山田教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

(山田教育長)

ほかにありませんか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。承認される委員は挙手をお願いします。

(採決) 全員挙手

(山田教育長)

第1号議案については、提案のとおり承認します。

【報告】

令和6年度科学の甲子園ジュニア大分県大会について

(2課〔教育改革・企画課、義務教育課〕入室)

(山田教育長)

次に、報告第1号「令和6年度科学の甲子園ジュニア大分県大会について」義務教育課長から説明をしてください。

(小野義務教育課長)

「令和6年度科学の甲子園ジュニア大分県大会」について、報告します。

「科学の甲子園ジュニア」は、中学生を対象に、数学や理科の力を活かしたSTEAM教育の一環として、平成25年度より行われています。

資料1段目の期日をご覧ください。今年度は、一次予選を8月2日に、二次予選を10月5日に開催しております。

2段目の内容の欄をご覧ください。一次予選は、23校37チーム222名が参加し、1チーム6人で、理科や数学の筆記問題に協働して取り組みました。

二次予選は、勝ち上がった10校15チームが参加しました。不規則な形の回転盤で「コマ」を製作し、回る時間の長さを競い合いました。これが実物です(チャレンジ1と2の実物を提示)。コマを長く回すためには、重心の位置を考えて軸の位置を決めることや、おもりを付ける位置を調整することが重要です。生徒たちは、糸や画鋲などの材料を使い、チームで案を出し合いながら作っていました。最高記録は、82秒という素晴らしい記録でした。

本大会の結果は、一次予選と二次予選の総合得点で決まり、向陽中学校Aチー

ムが最優秀賞に輝き、全国大会県代表に決定しました。

全国大会は、12月13日から、兵庫県姫路市で開催される予定になっており、10月30日には、全国大会壮行会を予定しております。

来年度は、中津市にサテライト会場を設け、本年度と同様に2会場で実施する予定です。

以上で報告を終わります。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(岩崎委員)

これまでに、大分県大会は何回開催されていますか。

(小野義務教育課長)

今年度で、12回目の開催です。

第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の結果について

(2課〔教育改革・企画課、体育保健課〕入室)

(山田教育長)

次に、報告第2号「第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の結果について」体育保健課長から説明をしてください。

(佐保参事監兼体育保健課長)

佐賀国民スポーツ大会の成績についてご報告します。資料14ページをご覧ください。

佐賀国民スポーツ大会は、本年1月に北海道でスケート・アイスホッケー競技が、2月に山形県でスキー競技が開催された冬季大会から始まり、会期前実施競技が9月5日から10月1日にかけて、本大会は10月5日から10月15日にかけて佐賀県で開催されました。

1の大分県の総合成績をご覧ください。天皇杯得点は893.5点、総合順位は29位となり、目標としていた2年連続の天皇杯得点1000点は達成できませんでした。

資料15ページをお開き下さい。国民スポーツ大会の天皇杯及び皇后杯順位の変動をグラフで表したものです。黒色のグラフが天皇杯、赤色のグラフが皇后杯です。佐賀国民スポーツ大会の天皇杯順位29位は、平成28年の岩手国体に次いで2番目に低い順位となっています。

14ページに戻り、2の都道府県総合成績をご覧ください。天皇杯は、3年連続で開催県が獲得できず、東京都が獲得しました。上位10県には、埼玉県、大

阪府、愛知県、神奈川県など人口順位10位以内の府県が位置し、来年、国民スポーツ大会を開催する滋賀県が8位にいる状況です。10位以降を見ると、北海道、兵庫県といった人口順位上位の道県に加え、近年国民スポーツ大会を開催した又は開催予定であった三重県、鹿児島県、茨城県、栃木県が、また、再来年開催する青森が位置している状況です。

また、18位の福井県は、ローイング（ボート）競技だけで225点を獲得、熊本、山梨、山口の各県については、複数競技で50点以上得点を獲得し、総合得点を伸ばしています。ちなみに、今回、本県は50点を超える得点を獲得した競技はありませんでした。

3の九州各県総合成績比較をご覧ください。本県は表にあるとおり、開催県の佐賀県、上位常連の福岡県、昨年開催した鹿児島県、昨年から260点得点を伸ばした熊本県に次ぐ九州第5位の成績でした。

16ページをご覧ください。優勝一覧です。上段が団体競技です。フェンシング競技成年男子が3大会連続の優勝、ボウリング競技では成年男子（2人チーム）が大会新記録で初優勝しました。下段の個人競技では、ライフル射撃、自転車競技、馬術競技、空手道競技の4競技で優勝しました。そのうち、空手道競技の西山走選手は4大会連続の優勝です。

17ページは、入賞選手一覧です。今回、20競技69種目で入賞しました。昨年と比較すると2競技14種目の減となっています。詳細については、後ほどご覧ください。

第78回佐賀国民スポーツ大会を総括すると、まず、九州ブロック大会では、開催地枠などの関係で、代表権獲得の減少が懸念されましたが、結果として昨年と同等の代表権を獲得する事ができました。本大会においても、「チーム大分」の選手・監督は各競技において、チャレンジとネバーギブアップの精神で最後まで粘り強く戦いました。しかし、勝てばベスト8入賞という戦いや、勝てばベスト4という準々決勝での戦いで敗退する競技があり、結果として得点が伸びませんでした。

そのような中、ボウリングや馬術競技での優勝など、直前の戦力分析を大きく上回る競技成績を残す活躍も見られました。来年の滋賀大会に向けて、佐賀国民スポーツ大会に向けて取り組んできた強化の内容を競技ごとにしっかりと分析し、今後の施策に生かしながら、競技力の向上を図っていきたいと考えています。

報告は以上です。

（山田教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（鈴木委員）

多くの試合がある中、出場した選手は心身への負担も大きいと聞いています。目標は達成できていないですが、次につなげる結果として、どこをどうすればよいかを考えていただきたいです。

(高橋委員)

前向きに考える事が大切と感じます。

(山田教育長)

先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かありますか。

(山田教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【議案】

第2号議案 大分県教育実践者表彰について

(3課〔教育改革・企画課、特別支援教育課、高校教育課〕入室)

(山田教育長)

それでは、第2号議案「大分県教育実践者表彰について」教育改革・企画課長から説明をしてください。

(説明)

(山田教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(山田教育長)

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。承認される委員は挙手をお願いします。

(採決) 全員挙手

(山田教育長)

第2号議案については、提案のとおり承認します。

(山田教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和6年度第14回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。